

平和を実現する人たちは

幸いである。

その人たちは

神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書5章9節

# シャロームタイムズ

2008年8月10日 (日) 発行

宗教法入

野毛山キリストの教会

〒220-0042 横浜市西区老松町30番地

## 平和聖日

でも八月第一日曜日は、平和について考え、過去の戦争の過ちを忘れないように、風化されないようにと覚えてずつと礼拝をささげて参りました。今年も去る八月三日(第一主日)平和聖日として礼拝をささげました。奈良昌人牧師より、「キリストは、私たちの平和です」というメッセージをいただき、午後からの「平和を語る会」では、戦争体験の話とサマーバイブルスクールの報告を通して、平和・いのちについて考えるとても大切な時間を過ごしました。

「人類が憎しみ合い、殺しあうこと

の悲惨さとおろかさを繰り返さないように」と日本基督教団が八月第一日曜日を平和聖日と定めましたが、当教会

## 伝えよう 戦争の恐ろしさ

金児栄治牧師と山中昭五氏、飛山二平氏、関島信彦氏、残念ながらこの日は出席することができなかつた島津嘉夫氏、五人の皆さんは中学時代からの学友です。毎週木曜日、「聖書に親しむ会」特別主日同礼拝にはいつも来会され、同窓会のように会われていることは実にうれしいことです。現代だったら、たくさん遊んでいるような学生時代に戦争という怖い体験をし一緒に生きて来られた皆さんだからこそ、より一層絆が深いのだと感じました。

出席	主日礼拝	40人
平和を語る会		93人

今、この時に、戦争の恐ろしさを伝え知っていきましよう。  
敵にわかってしまうので、灯りのまわりに紙を貼り、灯りがもれないようにと暗い生活をしてみました。B2とこの飛行機は爆弾をたくさん積んでたたくさんとんできました。横浜も五月二十九日には空襲がありました。その時はほとんどが焼野原になりました。その時はみんな防空壕に隠れていました。低空飛行で今にも襲ってきたようなヒコキ、みんな防空壕に逃げた時、逃げる途中に保土ヶ谷化学で作っていた苛性ソーダの大きな甕が落ちてそこに落ちたか死んでしまうのではないかと怖い思い、怖い経験をした。戦争は本当に恐ろしいことです。戦後六十三年、戦争を知らない世代が増えていきます。



### 2008年の夏も、平和への思いを熱くし、いのちの貴さを知りましよう。

年間の自殺者3万人を超える日本の現実を憂い、さらに6月末の秋葉原での無差別殺傷事件ははじめ身勝手な犯罪に嘆く者として、いのちの大切さをことさらに叫んでいきたい。  
なぜいのちが大切なかを考える時、そのいのちが愛されているいのちであること、愛されているいのちであることが前提となります。この世には、愛されていないいのちなどないのですから...。自分のいのちが愛されている、つまり自分が何があっても、まぎれなく「神さまに愛されている」ということを伝えたいと思います。自分が大切にされ、愛されているという経験が「隣人を愛する」ことを可能にするのであり、自分以外のいのちを大切にすることへとつながるのです。  
子どもたちだけでなく、おとなも、誰もが愛されている。自分の中に嫌いなところがあって、しかし、それも間違いなく自分なんだという事実がいつ自分を受け入れがたくしています。しかし、どんなに自分がそう思っても、あるいは人がどのように自分を見ようとも、自分を愛して下さる方がいらっしゃる。「わたしの目にはあなたは価高く、貴く、わたしはあなたを愛す。」と言ってくださる方がおられることを知りましよう。

### ♪君は愛されるため生まれた

君は愛されるため生まれた	君の生涯は愛で満ちている
君は愛されるため生まれた	君の生涯は愛で満ちている
永遠の神の愛は	われらの出会いの中に実を結ぶ
君の存在は 私には	どれほど大きな喜びでしょう
君は愛されるため生まれた	今もその愛受けている



サマーバイブルスクールでは、和子先生から「ザアカイの話」について、わかりやすく丁寧に説いていただき、神さまの愛について考える時間を持つことができました。

「ザアカイの話」を通して、神さまが私たち一人ひとりをお愛し招いてくださっていること、また、神さまから離れ、道に迷っている者こそ、神さまは、よるこんで受け入れ、深く愛して下さるということを改めて学びました。

また、分級の最後に、金児先生が、平和を守り維持するための「憲法第9条」や戦争に関する資料を示しながら、平和についてお話しくださいました。

広島、長崎の原爆で、どれほど多くの方々方が犠牲になられたかということ、そして、今もなお、原爆症で毎年何千人という多くの人々が亡くなっているというお話は何もありません。園長先生のお話では、近年減少し続けていた原爆ドームを訪れる人の数が、このところまた、増え続けていることと、子どもたちと一緒に考えなくてはならないと、子どもたちと一緒に考えなくてはならないと、園長先生から戦争の体験を伺い、戦争という大きな問題は、もちろんのこと、私たちが日々の生活の中で、神さまから愛されている一人ひとりの命の大切さ、心の平和、といったことをしっかりと生きていかなければならないのだと改めて感じました。

(報告 根岸ひろみ)

## アンチレグルーフ

おとな・保護者



### 日本国憲法 第2章 戦争の放棄 第9条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸空海軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

八月  
はちがつや  
六日  
このか  
じゅうごにち  
九日  
十五日



### 広島 (ヒロシマ)

1945年(昭和20年)8月6日午前8時15分、原子爆弾リトルボーイは、第33代アメリカ合衆国大統領ハリー・S・トルーマンの原子爆弾投下の大統領命令を受けたB-29(エノラ・ゲイ)によって投下されました。

### 長崎 (ナガサキ)

広島の3日後の1945年8月9日午前11時2分、B-29(ボックスカー)が長崎市に原子爆弾ファットマンが投下しました。

